

報道関係各位

2020年10月14日

**LIXIL、「世界手洗いの日」に衛生環境改善と手洗いの普及を推進
米国国際開発庁 (USAID) と連携協力覚書を締結
レキットベンキーザー社と新たなパートナーシップを取り結び、
ユニセフとの連携を強化**

株式会社 LIXIL グループ（以下 LIXIL グループ）は、10月15日（木）の「世界手洗いの日」に合わせ、グローバルな衛生課題の解決と手洗いの普及に向けたパートナーシップ活動を発表しました。世界的なイベントを前に、米国国際開発庁（以下 USAID）と LIXIL グループはこれまでの開発途上国での活動を拡大するべく、新たに連携協力覚書を締結しました。また、LIXIL グループの手洗いソリューション「SATO Tap」と英消費財企業であるレキットベンキーザー社（以下 RB）の主力ブランド「Dettol（デトール）」石鹸 50 万個を付属して開発途上国で展開することが決まりました。加えて、国際連合児童基金（ユニセフ）とは、かねてより水と衛生の分野におけるグローバルパートナーシップを通して持続可能な形で衛生環境の改善を図り、開発途上国における衛生市場の構築を目指した活動を展開してきましたが、手洗いの普及を迅速に進めるため、さらに連携を強化します。

2020年6月、LIXIL グループは、上下水道が整備されていない地域の家庭や様々な施設で利用できるよう、低価格を実現した開発途上国向け手洗いソリューション「SATO Tap」を発表しました。ユニセフをはじめ、地域のニーズに詳しいパートナーから技術的な助言を受け、当社のデザイン力や水まわり製品に関する設計技術の専門性を活かすことで考案された「SATO Tap」は、水道が利用できない家庭でも簡単に利用できる手洗いソリューションです。開発途上国でも容易に手に入るペットボトルを給水タンクとして利用し、様々な形状のボトルを取り付けることができます。また、できるだけ手を触れずに操作できる設計も特長で、手を洗うのには十分な一定の水量を確保しつつ、一度に出る水量を極力抑えることが可能です。



LIXIL グループ 社長 兼 CEO 瀬戸欣哉は次のようにコメントしています。

「世界では、約 30 億人にのぼる人びとが自宅で手洗い設備を利用できないという現実があります。LIXIL グループでは、政府系機関や民間企業との連携を通じて、持続的な衛生環境の改善に向けて、政策提言、製品開発、サプライチェーンの構築、地域サービスの提供など、様々な取り組みを推進してきました。当社の強みを生かすことで、開発途上国における手洗いの普及に向けて、さらに活動を拡充しています。LIXIL グループは、同じ志を持つパートナーと力を合わせることで、世界中のすべての人びとの衛生環境の改善と手洗いの普及に向けて、永続的な変化をもたらすことを目指してまいります」

2018年には、5歳未満の子どもたちの死亡要因の約8%を下痢性疾患が占めましたが、食事の前やトイレに行った後に石鹸で手を洗うことで、子どもの下痢性疾患のリスクを40%削減できることが明らかになっています^{※1}。また、石鹸と水で手を洗うことは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染予防に効果的であり、人びとの命を救うための有効な手段とされている一方で、多くの人びとが安全で清潔な水やトイレ、手洗い設備を利用できない環境に置かれています。

※1 Infographic Get the facts on handwashing

<https://www.unicef.org/stories/infographic-get-facts-handwashing>

Diarrhoea

<https://data.unicef.org/topic/child-health/diarrhoeal-disease/>

LIXIL グループは、2025 年までに 1 億人の人びとの衛生環境を改善し、生活の質の向上につなげることを目標として掲げています。その一環として、USAID、RB、ユニセフと連携し、官民双方における協力関係を拡大し、衛生環境の改善と手洗いを普及するためのソリューションの提供を通じて、目標達成に向けた取り組みをさらに加速させていきます。

USAID と覚書を締結、官民連携を強化

LIXIL グループと、国際開発と人道支援を行う独立した米国連邦政府機関である USAID は、開発途上国における衛生環境の改善と衛生設備の利用改善に向け、10 月 13 日（現地時間 9 時）に連携協力覚書を締結しました。USAID は、米務省とともに、Water for the World Act の導入に向けた米国政府の取り組みを推進しており、2022 年までに 1,500 万人の安全な飲料水の利用、800 万人の衛生的なトイレの持続的な利用を目指しています。将来的には、衛生設備の拡充に向けたサプライチェーンや市場の構築、新興国における女性起業家や中小企業の事業機会の創出につなげていきます。新たなパートナーシップを締結することで、USAID と LIXIL グループは、双方が有する専門性、リソース、ネットワークを活用し、取り残されている人びとの衛生環境の改善に連携して取り組んでいきます。

RB と連携し、石鹸による効果的な手洗いを推進

LIXIL グループは、RB が展開するグローバルな抗菌ブランド「Dettol（デトール）」と手洗いソリューション「SATO Tap」を付属して展開します。水道設備がない家庭であっても利用できる手洗い器と石鹸を提供することで効果的な手洗いが可能になります。LIXIL グループと RB は、今後数カ月間でインド、ケニアならびにタンザニアなどの市場で製品提供を開始する予定です。

ユニセフとのパートナーシップによる活動を手洗い分野に拡充

LIXIL グループとユニセフは、グローバルパートナーシップ「Make a Splash!」を通じて、エチオピア、ケニア、タンザニアの 3 カ国で、安全で衛生的なトイレの普及に重点を置いた活動を展開してきました。LIXIL グループによる「SATO Tap」の開発に伴い、COVID-19 の感染拡大を防止し、手洗いの普及を迅速かつ持続的に推進するために、このパートナーシップの活動範囲を拡大しました。行動変容を促すためのキャンペーンを強化するために、開発途上国の商習慣や行動様式に関する情報収集、衛生プログラムを推進するための政策提言、官民双方の既存のネットワークとサプライチェーンを最大限に活用して手洗い設備の普及活動を進めるなど、多岐にわたる活動を展開します。さらに、アフリカの 3 カ国からインドとバングラデシュを含む 5 カ国に活動地域を拡大し、一般家庭と地元小売業者を対象とした実証実験を共同で実施する予定です。

水まわりと住宅建材製品のリーディングカンパニーとして、LIXIL グループは衛生環境を改善するための革新的な製品とサービスを提供してきました。パートナーシップの拡充を通じて、持続可能なエコシステムを構築し、世界中のあらゆる人びとのより豊かで快適な住まいと暮らしの実現に貢献していきます。



LIXIL グループのコーポレート・レスポンシビリティ（CR）活動の詳細は[こちら](#)をご覧ください。

■ LIXIL について

LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在70,000人以上の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。

LIXILなどのブランドを展開する、株式会社LIXILグループ(証券コード: 5938)は、2020年3月期に1兆6,944億円の連結売上高を計上しています。

LIXILについて : www.lixil.com/jp、<https://www.facebook.com/lixilcorporation/>